

学校教育目標

令和3年度 学校経営方針

北九州市立すがお小学校

す 健やかな体と が 学力を確かに身に付け お 思いやりの心あふれる 子どもの育成

学校経営の基盤

(1) 基本方針

「学校は未来を担う子ども達のためにある。」
全職員で、知恵を出し合い、子ども達の健やかな成長と諸問題の解決に向けて、協働性・同僚性・創造性を発揮し、地域や保護者に信頼され期待される学校づくりに取り組んでいきたい。

(2) 経営にあたっての留意点

1. 「北九州市学力・体力アクションプラン」の推進
2. 子ども達の安全・安心の確保
3. どの子にも居場所があり、自己実現できる学級経営
4. 一人一人の子どもの人権尊重
(いじめをさせない・見逃さない・許さない)
5. 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育
6. 子どもの内面に根ざした道徳性を育むことに努める
7. 職員相互の信頼と協働体制の確立
8. SDG s の理念を行動で具現化

めざす児童像

す すすんで 体を鍛える 子ども
が 学習に主体的に 取り組む 子ども
お 思いやりの 心をもつ 子ども

めざす学校像・教師像

- 子どもが主役の活気ある学校
- 温かい信頼関係で結ばれた学校
- 子どもの価値ある自己実現を支える学校
- 家庭や地域との連携を深める学校
- 研究・研修を通し謙虚に学び合う学校
- 学び続け、課題への挑戦を目指す教職員
- 仕事と私生活を大切にする社会人（教職員）

保護者の願い

- 個に応じた指導をさらに充実させ、「確かな学力」を身に付けてほしい。
- 相手を思いやる心、命を大切にする心、善悪を正しく判断し行動する力、他者に対する尊敬や感謝の気持ちなど「豊かな心」を育成してほしい。
- 登下校の安全確保や不審者等に対する安全対策を強化してほしい。
- 挨拶や集団生活のマナーなどをしっかり指導してほしい。
- 特別な支援を必要とする子どもへの理解と支援をしてほしい。(やまびこ学級)
- 故郷を愛する子どもに育ててほしい。

学校教育目標具現化のための具体的方策と本年度の努力点

<子どものために働いている学校>

- ①公務員としての職責を自覚し、全力で職務に専念する。
・体罰の禁止 ・セクハラ防止 ・飲酒運転等の厳禁
・不適切な言動や信用失墜行為に気を付ける
※ワークライフバランスを心がける。
- ②学級経営の充実を図る。
・支持的風土のある学級づくり(カウンセリングマインド)
・学級懇談会・学習参観・家庭訪問・連絡帳・電話連絡・学級通信等の細かな手立ての工夫を通して、保護者との信頼関係を築いていく。
- ③特別に支援を要する児童に関する適切な指導や必要な支援を行う。
- ④学習や生活の場としてふさわしい、安全で潤いのある環境づくりに努める。コロナ禍における柔軟な対応を行う。
・施設等の安全確保と管理(スクールヘルパー等の活用)
・学校の美化と機能化への努力 ・消毒作業
※家庭への配布文書は事前に教務・校長へ提出する。

<研究的・実践的に努力する学校>

- ①学校教育の今日的課題である「確かな学力の向上」と「心の育ちの推進」、「健やかな体の育成」に努める。
・スクールプランを生かしたPDCAサイクル
・「主体的・対話的で深い学び」に向けた見方・考え方を働かせる論理的思考力を育む授業への改善と教育課程の確実な実施(学びチャレンジリーディングスクール2年次)
・考え、議論する道徳の確実な実施
・児童の心の状態の把握に努め、教師と児童・児童同士の円滑な人間関係を構築する。
・生徒指導・人権教育・特別支援教育の積極的な推進
・体育科学習時間や休み時間を活用した体力向上の取組
- ②幅広い教養と識見、実践的指導力を身に付ける研究・研修に努める。
・自己の研修課題設定(自己評価・自己申告書)
・校内研修会の実施(主題研修、若年研など)
・研究大会等への積極的な参加と校内への還元 未定

<家庭や地域との連携を深める学校>

- ①ふるさと教育の推進
・畑の活用(野菜の栽培、収穫)
・収穫祭等での感謝の気持ちの醸成
・両谷市民センター(センターまつり・漬物コンクール)への協力
・スクールヘルパー・保護者・地域との連携
- ②家庭学習の計画的・継続的な取組の充実と共通理解を図る。
- ③PTA活動や地域行事への積極的な参加を図る。
・サマーキャンプ 未定
・もちつき大会 未定
- ④広報活動や情報公開に努める。
・「学校だより」の発行
・学校評価の実施と結果の公表
- ⑤学校評議員から学校運営協議会への移行をすすめ、更なる学校経営への参画を図る。